

各 位

一般社団法人 電子情報技術産業協会

環境部会

製品化学物質専門委員会

欧洲化学品規制WG

## 電機・電子4団体「欧洲化学品規制セミナー」

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の諸事業にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。このたび、電気電子機器に関する「欧洲化学品規制セミナー」を下記要領にて開催いたします。ご関心をお持ちの各位におかれましては、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

### <開催の趣旨>

改正 RoHS 指令 (RoHS2) は、今年で施行後 12 年目を迎え、一部改正も進められております。また、定期見直しが実施される除外用途について、2020 年に更新申請を提出してから長らく「検討中」の状況でしたが、2025 年 11 月に 3 件の除外更新指令が公布されました。日欧の産業界は、現在も適用除外の更新申請対応を継続中です。

一方、原材料から調剤、部品、製品と、業界を横断したサプライチェーン全体での含有情報、用途情報等の流通・共有が求められる REACH 規則についても、官報公布から 20 年近くが経過し、改正の動きが出てきております。また、将来、電機電子機器に影響する可能性が高い制限検討の動きもあります。

中でも特に、有機フッ素化合物 PFAS の全面禁止提案は、全世界に大きな衝撃を持って受け止められました。4 団体では、他の利害関係者とも協調して、欧洲化学品庁 ECHA や欧洲委員会に、科学的・技術的、さらには実運用における PFAS 全面規制の問題点を指摘し、代替がない用途についてはエッセンシャルユースとして制限から除外するよう働きかけております。

今までの活動の中で得られた欧洲の製品含有化学物質規制の最新動向をご紹介することにより、皆様の製品含有化学物質規制対応への一助となることを願い、本セミナーを開催いたします。ご参加いただき、我々の知見や活動に関する情報が皆様にご活用いただければ幸いです。

また、製品含有化学物質規制を含めた EU の環境法規制については、世界的にも先行事例がないため、規制する側も手探り状態です。ともすると EU 当局は、理念が先行して、現実的に運用不可能な法規制を作ってしまう傾向があるため、意見具申が可能なタイミングで、法案のフィージビリティについて産業界から実務経験と技術的知見に基づくインプットを行い、当局に協力して、現実的に適用可能な法規制にしていくことが不可欠です。4 団体欧洲化学品規制ワーキンググループは、活動開始この方、日本の電機電子業界の意見を欧洲に具申してまいりました。そのような活動にご関心を持たれる会社様がおられましたら、ぜひ、4 団体、またはそれぞれの製品分野に關係する工業会にご参加いただき、共に活動できればと願っております。

記

日 時： 2026年3月 6日(金) 13:30～16:45

形 式： Webex Webinars によるオンラインセミナー※

※本オンラインセミナーの免責事項/禁止事項については最終頁を参照願います。

※ Webex会議の参加手順はこちらよりご確認ください。

主 催： 電機・電子4団体 製品化学物質専門委員会 欧州化学品規制WG

参 加 費：

- 環境戦略連絡会委員／製品化学物質専門委員会および傘下WG・アドホック委員：無料
- 電機・電子4団体（JEITA・CIAJ・JBmia・JEMA）会員企業：5,500円／人(税込)
- 非会員企業16,500円／人(税込)

＜参加費区分の確認について＞

参加費の区分は、下記 URL よりご確認いただけますので、申込前の補助ツールとしてご利用ください。

※「株式会社」等の表記は入力不要です。

※ 登録時に入力された会社名の表記と一致しない場合、検索結果が正しく表示されないことがあります。

※「会員企業」とは、電機・電子4団体（JEITA、CIAJ、JBmia、JEMA）の会員会社を指します。

各団体の会員情報は、それぞれの公式ウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.jeita.or.jp/japanese/search/>

申込方法：下記申込サイトからお申し込みください。

<https://www.jeita.or.jp/form/custom/443/form>

申込期限：2026年2月13日（金）17時

事務局：一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA） グリーンイノベーション部 山本・飯塚

E-Mail：[emi.yamamoto@jeita.or.jp](mailto:emi.yamamoto@jeita.or.jp) [aya.iizuka@jeita.or.jp](mailto:aya.iizuka@jeita.or.jp)

備考：資料およびオンラインセミナーへの参加案内は、開催1週間前を目途にご連絡いたします。

【参加費について】

- ① 後日、請求書を事務局より e-mail (PDF) にてご連絡させていただきます。
- ② 領収書は発行いたしません。
- ③ お振込予定日を「連絡事項」の欄に必ずご記入ください。
- ④ お振込の際は、入金確認の手続き上、請求書に記載の受付番号(4桁)を必ず振込依頼人欄の会社名の前にご記入願います。可能であれば、受付番号、会社名に加え出来るだけ個人名の記入もお願いいたします。  
(例: 1001 株式会社電子情報 電子情報太郎)
- ⑤ 振込手数料は各自ご負担ください。
- ⑥ 受講料の返却はいたしかねますので、お振込後にご本人が参加できなくなった場合は、代理の方のご参加をお願いいたします。

## プログラム

13:30～13:35	開会の挨拶 中矢 健太 ((株)東芝／セミナープロジェクトリーダ)
13:35～13:50	はじめに（電機・電子4団体とは／EU法の基礎知識） 藤澤 京子 (キヤノン(株)／RoHSアドホックリーダ)
13:50～14:50	EU RoHS 指令の最新動向（除外更新状況を中心に） 吉原 万吉 (ソニー(株)／RoHSアドホックサブリーダ)
14:50～15:00	質疑応答
15:00～15:15	休憩
15:15～15:45	EU REACH 規則の最新動向（成形品に関する改正・制限検討を中心に） 平松 圭子 ((株)ニコン／RoHSアドホックサブリーダ)
15:45～15:55	質疑応答
15:55～16:35	EU REACH 規則 U-PFAS 規制案の最新動向 江里口 武 (AGC(株)／フッ素系タスクチーム)
16:35～16:45	質疑応答

※プログラムの内容につきましては、変更となる場合もありますので予めご承知ください。

### ■個人情報保護について

※ご参加いただきました方の個人情報は、本セミナーの受付、JEITA 主催セミナーのご案内、セミナーアンケートでの質疑回答のために使用いたします。これら以外の目的で使用することはございません。

※JEITA の個人情報保護方針につきましては下記をご参照ください。

<http://www.jeita.or.jp/japanese/privacy/>

### ■ご参加にあたっての注意事項

#### 1. 技術的トラブルについて

主催者側の通信環境や配信システムの不具合等により、セミナーの一部または全部が中断・中止となる場合があります。その際は、可能な限り録画による代替配信を行うよう努めますが、技術的・運営上の理由により実施できない場合もございます。主催者は、不可抗力による損害（逸失利益、間接損害等）について一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

#### 2. 著作権・知的財産権

セミナー資料・映像・音声等の著作権は主催者または講師に帰属します。無断での複製・転載・配布・公開は禁止されています。

#### 3. 録画・録音の禁止

参加者によるセミナーの録画・録音・スクリーンショット等は禁止されています。必要に応じて、主催者が公式に録画版を提供する場合があります。

#### 4. 同一アカウント/同一端末による複数人受講の禁止

本セミナーは、1つの申込につき 1名様のみの受講を前提としております。同一アカウントまたは同一端末を用いた複数人での同時視聴、画面共有、録画の上映等は禁止とさせていただきます。